



平成20年11月21日
内閣府沖縄振興局
独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構

独立行政法人 沖縄科学技術研究基盤整備機構
「日本における ADHD 研究 (ADHD Research in Japan)」開催について

標記について下記のとおり行いますのでお知らせいたします。

記

1. 日 時 平成20年11月28日(金) 9:15~17:15
2. 場 所 OISTシーサイドハウス セミナーハウス(1階)
(沖縄県国頭郡恩納村字恩納7542)
3. タイトル 日本における ADHD 研究 (ADHD Research in Japan)
4. 概 要 沖縄県恩納村にある OIST シーサイドハウスにて、日本における ADHD 研究についてセミナーを開催します。
日本において注意欠陥多動性障害 (ADHD) 関連の研究をされている先生方7名と当機構発達神経生物学ユニット代表研究者、ゲイル・トリップ博士がこれまでの研究成果等を発表します。また、今後、沖縄で ADHD の研究活動を始めるにあたり、同ユニットの研究計画をご紹介します。
5. 取材方法 別紙の取材要領に従ってください。

<p>【本件連絡先】 内閣府沖縄振興局新大学院大学企画推進室 田中、漢那 独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構 具志堅、名取 電話(代表) 098-966-8711 FAX 098-966-8717 E-mail chiaki.gushiken@oist.jp、kaoru.natori@oist.jp</p>
--

「日本における ADHD 研究 (ADHD Research in Japan)」
取材要領

1. 取材が可能なセッション

取材及び撮影については全プログラム可能です。ただし、発表の妨げにならないようご配慮ください。また、撮影については現場係員の指示にしたがっていただくようお願いいたします。以下は発表のプログラムです。

<11月28日(金)プログラム>

午前の部

- 9:15-10:00 井上 祐紀 (国立精神・神経センター 精神保健研究所)
「AD/HD 児における反応スイッチング機能の異常」
- 10:00-10:45 加我 牧子 (国立精神・神経センター 精神保健研究所)
「AD/HD 児の視覚性 P300」
- 11:00-11:45 増南 太志 (筑波大学 人間総合科学研究科)
「報酬・罰の感度が注意欠陥/多動性障害児の意思決定に及ぼす影響」
- 11:45-12:30 船橋 新太郎 (京都大学こころの未来研究センター)
「注意欠陥/多動性障害 (ADHD) の霊長類モデル」

午後の部

- 14:00-14:45 岩坂 英巳 (奈良教育大学教育学部 特別支援教育研究センター長)
「AD/HD の心理社会的治療
~Parent Training と SST (Social Skill Training) を中心に~」
- 14:45-15:30 根来 秀樹 (奈良県立医科大学 精神医学教室)
「注意欠陥/多動性障害 (AD/HD) の事象関連電位」
- 15:45-16:30 飯田 順三 (奈良県立医科大学医学部看護学科)
「ADHD の画像研究」
- 16:30-17:15 ゲイル・トリップ
(沖縄科学技術研究基盤整備機構 発達神経生物学ユニット)
「ADHD におけるドーパミン情報伝達欠陥説 (DTD) -研究調査報告」

2. 登録

事前連絡は必要ありません。

当日、入場される方は、全員必ず報道機関の腕章を着用し、入り口の受付にて受付を済ませた上で、入場ください。腕章のない方は、会場警備の都合上、入場をお断りする場合があります。

3. 撮影場所の指定

撮影に当たっては、係員の指示に従っていただくようお願いいたします。

4. 音声の収録

音声ジャックは使用できません。報道各社によるガンマイク等の使用は可能ですが、音声の収録に当たっては、くれぐれもプログラムの進行の妨げにならないよう配慮をお願いします。

5. 参加者への個別インタビュー

セミナールーム内での個別インタビューはご遠慮ください。

発表者への個別インタビューについては、事前に本人の了解を得て行ってください。

6. 留意事項

講義はすべて通訳（日・英）が付きまます。

報道関係者控え室はありません。

以 上